



第24号
2018.07

支庭商工会会報



目 次

- 通常総会報告・
新役員紹介 P2
- 会長挨拶・新会員紹介 P3
- 新入社員セミナー・
新規就職者激励会 P4

- 真庭市産業サポートセンター P5
- 経営支援事例 P6~8
- 各種共済告知 P9
- 求人情報 P10~11
- 雇用保険告知 他 P12



5月24日に開催された平成30年度通常総代会において、一期三年の任期を終え、二期目の会長職を務めさせていただくことになりました。

福島会長から引き継いでからあつという間の二年間でした。どのくらい皆様のお役に立ったのか、振り返ると忸怩たる思いがあります。もう一度初心に帰り商工会と真庭地域の商工業の発展、活性化に貢献出来るよう更に頑張る所存です。新体制に対する引き続き会員皆様始め関係各位のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

また森本副会長始めこの度退任されました理事、総代の皆様には長年にわたり商工会と地域発展のためご尽力いただいたことに商工会を代表して心から御礼申し上げます。今後ともご支援、ご鞭撻賜わりますようよろしくお願いいたします。

さて、平成29年度真庭商工会において特筆すべきことは、会員数が純増したことです。その他の数値目標についても県内の



真庭商工会
会長 山下 豊

会長挨拶

ますますの会員増強で 中山間地域の希望の星に！

他の商工会と比較し高いレベルでクリアしておりますが、商工会合併以降じわじわと減少してきた会員数がようやく底を打ったことは大変大きな出来事です。これも平成27年度から国の認定を受けた経営発達支援計画のもと、新規事業の立ち上げや経営革新、創業支援など会員及びこれから会員になってくださる皆様に寄り添った、いわゆる伴走型の支援の結果、役立つ商工会、頼りになる商工会との評価が定着した結果だと考えております。職員の皆さんのがんばりはもちろんですが、理事、

総代始め会員皆様のご支援ご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。2年だけだったなあという格好悪いことにならないよう、今年度は特に力を入れて会員の維持、拡大に努めて参ります。

経済産業省によれば、2025年度には日本の会社の三分の一、127万社が廃業の危機を迎える、これによって650万人の雇用喪失とGDPで22兆円が消えてなくなる可能性があるとのことです。廃業する会社の半数以上は経営黒字、ほとんどが後継者がいないという理由のようです。真庭ののような中山間地域では尚更その割合が増える恐れがあります。このまま放置すれば、会員数が純増したことです。その他の数値目標についても県内の

ことも困難になってしまいます。

地域を挙げてのバイオマスや観光への取り組み、農業の先端・成長産業化等の動きの中、起業者をどんどん増やしていくとともに、後継者がいない事業者と起業したい人とのマッチングを行うなど、地域で必要とされる事業がなんとか継続できるようあらゆる方策を講じて支援したいと思います。真庭は全国から注目されている地域です。日本の中山間地域の希望の星となるよう精一杯頑張りましょ。

今後ともご指導、ご支援をお願いいたしますとともに、皆様の事業のご繁栄と真庭地域の発展を祈念し、ご挨拶いたします。

真庭企業ガイドを発行して 会員事業所の幅広いPR活動を実施

本年度商工会では、製造業者(メーカー)と卸売間または、卸売と小売間などの企業間取引(BtoB)や企業と一般消費者間での商取引(BtoC)のお役に立てるような一冊となる企業ガイド冊子を発行いたします。

会員事業所の皆さんにとって役立つ事業所情報を盛り込んで、保存版として有効にご活用いただけるものとなっております。

これから、新たな取引を希望される方、現在取引されている事業所への情報提供と地域の活性化を目指して真庭地域内外での幅広い情報発信していきます。



新会員さん紹介 (愛付順・敬称略)	
北房地区	豊田 稔 (株)水嶋衛 阿印簡易郵便局 JCT ~ an be~
久世地区	今石完治 山中明正 トップステージ 真庭バイオマス発電(株)
勝山地区	木下真江 阿印簡易郵便局 株桑木設計工務 (株)lifestyle
湯原地区	稲田文夫 高倉会社 美吉古代米学校 スリースマイル(株)
新庄地区	大蛇 小椋隆太 石藤勝美 株創林社 野土路農場

商工会は新規就職者を応援します



新入社員セミナー開催

25名が社会人の基礎を学ぶ

平成30年4月7日 (土)に勝山文化センターにて平成30年度新入社員セミナーを開催しました。地域内8事業所より25名が参加し、講師にY.Sオフィス代表の川上陽子氏をお招きして新入社員の早期戦力化のために社会人として求められるビ

ジネスマナーを学びました。社会人と学生との違いや、挨拶、名刺交換、電話応対や、ケーススタディを通じてホウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談)の対応についてグループディスカッションを行う内容の研修を行いました。



新規就職者激励会開催

82名の新入社員が激励を受ける

平成30年5月30日

(水)に真庭市役所本庁

舎にて新規就職者激励会を開催しました。地域内25事業所より82名が参加し、主催者・来賓から仕事に取り組む姿勢や地域での楽しみ方などのお話をあり、記念品として真庭の特産品を受け取りました。



新規就職者に聞く!



会社名: 株式会社佐田建美
氏名: 磯田未来さん
出身地: 岡山県新見市

Q1. セミナーに参加してどうでしたか?

講師の方が社会人としての礼儀、心構えを分かりやすく教えてください、とても貴重な時間になりました。特に「言葉遣い、声の大きさ」についてのお話が、私の心に残りました。

また名刺交換の練習の際に、他社の方と交流を持つこともでき、嬉しかったです。

Q2. 真庭市の企業に就職したのは?

私は高校時代に偶然入った家具屋さんで建築の魅力にひかれ、卒業後に県外の建築が学べる専門学校に進学しました。そして進学後も地元就職への想いが変わらず、『地元(県北)で建築を仕事にしたい!』という気持ちから弊社のみを志望し就職しました。

Q3. 今後の抱負を教えて下さい。

先輩方と一緒に仕事をさせて頂き、一つひとつの仕事を習得していくと共に、学生時代に学んだ『図面を読む力』を先輩方に教えて頂きながら磨いていきたいと思います。

真庭市産業サポートセンター支援事例



いちごを使った新商品開発による販売開拓

農事組合法人清藤 代表理事 平泉 繁

北房

事業概要 平成5年に創業し、ぶどう・梨の生産及び販売業を行っている。

平成29年度にフルーツカフェをオープンするあたり、当社の主力商品である「ぶどう・梨」の果物の提供だけでなく、通年で提供できる商品の必要性から、いちご娘農園の西村氏と商品開発について検討していた。その時に、補助金の情報を知り、申請について商工会へ相談した。

申請書に必要となる事業計画書の策定支援を受けながら計画書を策定した。事業の結果、新商品としていちごを使った、アイスクリーム、クッキー、パウンドケーキ、タルトの開発に成功し、販売を開始している。

事業者の声 連携先と協力し満足できる商品開発ができました。お客様には果物とあわせて新商品も一緒にご利用いただいております。新商品をお客様から贈答用として利用したいとの声をいただきしており、イメージと合致するパッケージの開発の必要性を感じていました。そんなときに新設された「販路開拓支援金」について情報提供を受け、今年度も申請に至り、パッケージ開発をすすめることができます。今後もお客様に満足いただける商品をつくり、地域の魅力を発信していきたいと思っていますので、引き続き支援をお願いいたします。



真庭市産業サポートセンター事業について

真庭市名物開発応援事業において、地域産業連携支援金、ふるさと名物支援金、販路開拓支援金の採択事業者全13件が決定しました。

産業連携支援事業 採択者

- ・プランニングオフィス蛍(坂本信広)
- ・有限会社侘助
- ・蒜山高原 Cultivate-Garden (宮永優)
- ・FONTEC R&D 株式会社

ふるさと名物支援金 採択者

- ・株式会社 HAKKEIJAPAN
- ・ひるぜんワイン有限会社
- ・真庭環境衛生管理株式会社
- ・池田農園 (池田光宏)

販路開拓支援金 採択者

- ・農業組合法人清藤
- ・有限会社原建設工業所
- ・有限会社河野酢味噌製造工場
- ・株式会社十字屋
- ・株式会社エイチケイ商会

(敬称略)

●起業支援事業

独創性及び発展性をもって起業する方に補助金を交付します。(補助率1/2以内 上限100万円)

- 【対象者】
 ・市内で新たに事業を起こす方
 ・個人事業者の場合は、起業の日に市内に住所を有している
 ・市税を完納している…等の条件をいずれも満たす方

現在募集中

●経営革新応援事業

承認を受けた経営革新計画等に基づいた事業の遂行に必要な費用の一部を補助します。

(補助率1/2以内 上限100万円)

- 【対象者】
 ・経営革新計画、農商工連携事業計画、地域産業資源活用事業計画及び総合化計画のいずれかについての認定を受けている。
 ・市内で1年以上事業を営んでいる
 ・市税を完納している…等の条件をいずれも満たす方

*申請にあたっては事業計画書の作成が必要です。計画策定については商工会の窓口で相談できます。
 *各補助金の申請には上記以外の条件があります。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

経営支援事例

「韓国人が食べても、日本人が食べても美味しい」キムチの商品化(北房地区)

真庭市起業支援事業

事業所名：株式会社ふ
代表取締役：姜 倫秀



会社概要

「韓国人が食べても、日本人が食べても美味しいキムチ」を知ってもらいたいという思いのもと、平成29年にキムチの製造・販売をおこなう株式会社ふを設立した。代表者はキムチ以外にも国際交流を通して、地域の商品を国内外に広げていきたいと様々な活動をおこなっている。

経緯・成果

- 1.事業計画作成から創業補助金の申請・承認。
- 2.販路開拓支援に伴う販売方法の明確化。現在ではデパート、スーパーからの引き合いも増加している状況である。

事業者の声

事業計画・申請書作成から承認までの全般をフォローしてもらい心強く感じています。

「酪農家の手作りジェラート」の県外＆海外に向けた販路開拓への取組(落合地区)

小規模事業者持続化補助金

事業所名：有限会社醍醐桜
代表取締役：山本 敏雄



▲左:後継者 山本英伸 右:現代表者 山本敏雄 ▲当社HP内に設置した英語表記企業紹介ページ ▲当社EC(通販)サイト

会社概要

当社は岡山県真庭市にて、ジャージー牛を飼育する酪農家として生乳出荷をメインに地道に営業を続けてきた。創業より3代目の後継者である息子は、「酪農の風景を残したい」という思いからジェラート職人へ転身し、本場イタリアフィレンツェでの修業を経て平成20年にジェラートショップ『醍醐桜』をオープンした。父が育てるジャージー牛の牛乳と、地元・岡山で収穫される果物を使い、独自のジェラート作りに励んでいる。

経緯・成果

当社ジェラートの更なる販売促進策として、海外市場開拓(展開)に向けた取り組みとインターネットによる販売強化を検討しており、商工会では補助金と事業計画策定の支援をおこない、下記による成果を得た。

- ①ホームページに自社の通販機能を追加した。顧客にジェラートはもちろんその他の商品を紹介することが可能となり、商品認知度向上が図れた。
- ②海外市場を開拓するため、ホームページに「英語」と「繁体字(中国語)」の企業紹介ページを設置した。これにより海外の方との商談時の会社説明の簡略化とともにスムーズな商談が可能となった。

事業者の声

当事業に取り組んだことにより、お客様から通販ショップの需要があったことを実感できました。補助金事業にあたっては計画策定から報告書作成まで商工会に一貫してフォローしてもらい心強かったです。

活用事例

伴走型小規模事業者
支援推進事業
まにわ経営革新塾

事業所名：(有)谷本生花店
専務取締役：谷本 忠恒

『ライブカメラを導入した、 花屋のサテライト経営』

同社は真庭市落合に本店、津山市に支店展開している花屋さんです。津山の生花を取り扱い、お客様の多様な用途に対応できるよう努めていますが、商品が生花であるため、慎重な取り扱いと鮮度管理が課題でした。

この課題を解決するため、谷本専務が商工会に相談に訪れたことから伴走型支援がスタートしました。

商工会では専門家を派遣し、ライブカメラを導入して生花の鮮度管理を本支店間で徹底していくことを提案しました。

店舗の見える化により在庫管理の改善だけでなく、お客様のニーズがリアルタイムにわかるようになり、以前にも増してお客様の気持ちに寄り添った店づくりを心掛けているそうです。



▲津山支店の状況を見る谷本専務



▲店内の様子